

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 742 号	氏名	高瀬 一馬
学位審査委員	主査	吉田 教明	
	副査	林 善彦	
	副査	筑波 隆幸	
論文審査の結果の要旨			
1. 研究目的の評価			
<p>本研究の目的は、動力的試験および示差走査熱量測定を用い、硬質リライン材のガラス転移温度の評価法について検討したもので、その研究目的は十分に妥当である。</p>			
2. 研究手法に関する評価			
<p>硬質リライン材としてモノマーの成分が違う3種類を使用している。すなわち予備実験から生体適合性において良好な結果を得られたフッ素系モノマーを配合している材料、歯科におけるレジン系材料でもっとも多く使用されているMMA系モノマーを使用している材料、そして<i>i</i>-BMA系モノマーを使用している材料を使用しており、その材料選択も妥当である。評価法として使用した2種の方法（動力的試験および示差走査熱量測定）も妥当である。</p>			
3. 解析・考察の評価			
<p>硬質リライン材は測定方法によりそのガラス転移温度に違いがあるということを示し、さらに動力的試験では周波数の違いがガラス転移温度の値に影響することが明らかとなった。今後の新規硬質リライン材開発への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は、レオロジー学的観点からの材料開発および歯科補綴学研究に大いに貢献が期待できるところであり、審査委員は全員一致で博士（歯学）の学位に値するものと判断した。</p>			